



ご存じですか？公民館図書室

市内には、中央図書館・やさと図書館の他に図書
を借りられる公民館図書室があります。中央図書館と
共通の利用カードで貸出でき、どこの館でも資料の
返却ができます。

【東地区公民館図書室】

石岡中学校のすぐそば。

公民館講座や買い物ついでにぜひお立ち寄りください。

場所：石岡市東石岡 4-6-24

開館日時：水～日曜日 午後1時～5時

【城南地区公民館図書室】

田園風景の中にある公民館図書室で、穏やかな読書
時間をお過ごしください。

場所：石岡市三村 7109

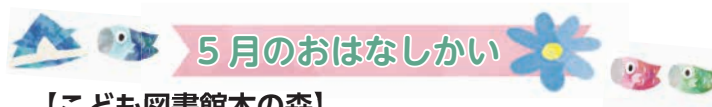
開館日時：水～日曜日 午後1時～5時

借りた資料が読み終わらないときは、
貸出期間の延長ができます。

図書館ホームページの利用者メニュー（登録用）から延
長をしていただくか、図書館にお問い合わせください。

※延長できるのは1度だけです。延長期間は手続き日
から14日です。

【延長対象外】雑誌・CD・DVD・予約のある資料・
返却期限を過ぎた資料



【子ども図書館本の森】

2日(土) おはなし玉手箱 (午前10時～)

14日(火) ひよこのおはなしかい

(午前10時30分～)

16日(木) むかしむかしのおはなし会

(午前10時～)

【郷の本棚やさと図書館】

9日(土) おはなしフレンズ (午後2時30分～)



▲「雷神宮に雹嵐除けの祈願をする」 昭和初期
『いしおか 昭和の肖像（今泉義文昭和史写真）』より
石岡市立中央図書館蔵

時の記憶

シリーズ 246

「昔話に語られる 雷神」

岡文化振興課（支所）

TEL 43-1111（内線1457）

雷神は、鬼の姿をして背中に小さな太鼓
が連なった「連鼓」を背負い、両手に撥を
持って太鼓を叩くことで雷鳴と稲妻をおこ
し、雷光によって火を放ち、雹雷を降り散
らし、農作物や家屋に被害を与えて災厄を
もたらすというイメージで人々に信じられ
てきました。それゆえ、「雷神＝鬼」と見
なし、畏怖する存在の対象とされてしま
した。その反面、恵みの雷雨をもたらす神と
しても厚く信仰され、五穀豊穡祈願や雹嵐
除けの祈願をして、雷神のご利益をいただ
く「雷神信仰」として、広く農村社会に浸
透して崇敬されてもきました。

雷雨、落雷、雹嵐多発地域といわれる北
関東地方には、「雷」がついた神社が数多
く分布しています。石岡でも雹によって桑
の葉や煙草の葉に穴があいたり、ちぎれた
りするなどの被害が多く、「雷神宮」をお
まつりして雹嵐除けの祈願も見られまし
た。

こうした背景からも雷神にまつわる昔話
が語り継がれてきたと思われる。

ふるさと歴史館第44回企画展

「石岡の昔話を掘る其ノ二―出沒！昔話の
妖怪たち―」

期間／7月5日(土)まで

場所／石岡市立ふるさと歴史館

(総社1-2-10)

休館日／月曜日（祝日の場合は翌日）

文芸いしおか

いしおか俳句同好会

春風に龍の眼うるむ寛永寺
飛ぶ花粉一気に春を連れてくる
銀盤の覇者に感涙冬五輪
球音に老いの血潮もたぎる春

やさど俳句会

初ざくら微笑み呉るる佳き日かな
あれよあれよゴム風船の浮遊かな
思ひ出は心の底に桜かな
「春愁や雲のいろいろ見て居れば

いしおか川柳会

何気ない一言傷を深くする
助けてといつでも言える友がいる
化粧した顔が素顔と言う女優
頼りがい無いけどあなた駆けつける

石岡俚謡会

紅い南天 こごえる指で 孫は目を入れ 雪うさぎ
電車乗客 スマホを見てる 私一人が 窓の富士
平和願って 異国で励む 目指す横綱 安青錦
庭に紅梅 今年も咲いて 母の磯節 思い出す
国を挙げての 応援団に 技で応える 選手達
漬けた梅干し 紅染まり 日々の弁当 春の味

投稿作品

宮参り 初着で眠る 孫抱きて 見上げる空に 紅梅眩し
ミラノにて 水上の舞あでやかに 日本の技の 世界に誇る
福豆を数える年が面倒に義理チョコに妻のやきもち若い頃
散歩道見知らぬ人の声かけに心のしこり消えゆくを知る

岡野 はつ子 (小幡)
菅野 憲枝 (南台)
森 まさえ (東光台)
若色 茂 (山崎)

上林 愛子 (辻)
吉田 進 (柿岡)
石田 清美 (瓦谷)
石田 誠一郎 (瓦谷)

永瀬 敬子 (柿岡)
市塚 浩子 (片岡)
若色 茂 (山崎)
松川 芳枝 (石岡)

小川野 蛙 (府中)
醍醐 正夫 (東大橋)
若色 茂 (山崎)
香俱耶姫 (南台)
坂下 蜻蛉 (国府)
秋野 もみじ (南台)

久保田 まさ子 (山崎)
鈴木 君江 (山崎)
羽生 好之 (三村)
猪膝 和子 (東石岡)

第61回

「石岡史跡研究会」

文化協会だより

歴史の里石岡を残すため、石岡史跡研究会は初代会長 故久保庭英夫氏の肝入りで長い間荒廃した府中六井の小目井を平成21年に現在の様に整備し、薬師様を祀っています。会員の奉仕活動でお経塚、小目井の草取りをしています。

石岡は多数の古墳や神社仏閣があり、大火の後の看板建築が多く並んでいます。視察研修では、大火の後の川越市では石を使い、蔵を建築したことを知り、国分寺の町、古民家の結城市と石岡を比較する事で文化や人の暮らしの違いが分かります。研修会の楽しみは当地を見るだけでなく、現地のグルメも重要です。

岡文化振興課

Tel 43-1111 (内線 1453)

